

記

1 申請者の概要

- ① 法人等の名称又は氏名：成田市
- ② 住所：千葉県成田市花崎町760
- ③ 法人の場合はその代表者の氏名：
- ④ 連絡先（電話番号）：
（FAX番号）：
（メールアドレス）：
（担当者名）：
- ⑤ 資本金の額又は出資の総額：（年 月 日時点）
- ⑥ 従業員数又は組合員数：（年 月 日時点）
- ⑦ 業種：
- ⑧ 決算月：

非公表

2 食品等流通合理化事業の目標

成田市公設地方卸売市場は、一般消費者へ食品等を安定的に供給するといった従来の市場機能に加え、成田国際空港を擁する立地を生かし、食品等の効率的な輸出を可能とする冷蔵冷凍庫や加工施設や、輸出に必要な手続きが一括で処理可能なワンストップ輸出拠点機能を備えた日本初の卸売市場として移転再整備をすすめている。

新市場の具体的な目標は、令和元年度の現市場での取扱高49億円を、新市場開場5年後までに、国内流通、輸出を合わせて取扱高189億円にすることとしている。

一方で、令和元年9月に発生した台風15号では、移転予定地域においても大規模かつ長期間に及ぶ停電が発生しており、今後、同様の災害が発生した際には、食品等の安定供給を担う重要な社会的インフラとしての機能に支障が生ずる恐れがある。

こうした状況を踏まえ、災害発生時においても、その機能を維持し、早期に回復を図れるよう事業継続計画（BCP）を策定するとともに、食品等を保管する冷蔵冷凍庫へ給電可能な非常用電源を整備することで、食品等を安定供給できる体制を確保することを目標に、本事業に取り組むものとする。

3 食品等流通合理化事業の内容及び実施時期

(1) 食品等流通合理化事業の内容

【講ずる措置の類型】

- 流通の効率化（イ）
- 品質管理及び衛生管理の高度化（ロ）
- 情報通信技術その他の技術の利用（ハ）
- 国内外の需要への対応（ニ）
- その他食品等の流通の合理化のために必要な措置（ホ）

災害発生時においても、冷蔵冷凍庫に給電する非常用発電機を設置することで、多くの食品等の品質管理が可能となり、一般消費者への食品等の安定供給が図られるとともに、国外の実需者ニーズに合致した食品等の輸出が可能となる。

○整備する非常用発電機

非常用発電機は、現在建設中の受変電設備と接続する必要があるため、受変電設備に隣接し、かつ、場内の物流動線に干渉しない位置に設置する。また、その周辺は、大雨等が発生した場合の排水を考慮し、勾配を付けることとしている。

- ・屋外型キュービクル式発電機
- ・発電機容量 1,500KVA
- ・燃料小出槽（キュービクル式） A 重油 1,950 ㍓
- ・地下埋設タンク A 重油約 30,000 ㍓

(参考) 今回整備する非常用電源で稼働させる冷蔵冷凍庫（予定）

- ・3階層総面積 1,698 m²（1階 565 m² 2階 549 m² 3階 584 m²）
- ・10℃、-30℃、-60℃の3温度帯
- ・燃料小出槽に貯められる燃料 1,950 ㍓及び地下埋設タンク約 30,000 ㍓で約3日間の稼働が可能

(2) 食品等流通合理化事業の実施時期

令和2年11月1日～令和3年3月31日

(3) 食品等流通合理化事業を実施する事業所又は卸売市場の概要

- ① 事業所又は卸売市場の名称：成田市公設地方卸売市場
- ② 所在地：千葉県成田市飯仲4-2
- ③ 事業開始（開設）年月日：昭和49年6月4日
- ④ 事業内容：青果物及び水産物を扱う卸売市場の開設

(4) 食品等流通合理化事業を実施するために必要な投資

実施者	年度	施設等の種類	施設等の規模・能力等 (m ² 、台、一式等)	事業費 (千円)
成田市	令和2年度	非常用発電機	1,500kVA	非公表
計				

4 食品等流通合理化事業を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

年度	実施者	使途	必要な資金の額 (千円)	調 達 方 法 (千円)						
				公庫	支援 機構	その他の 金融機関	自己 資金	その他	計	備考
				非 公 表						
計										

5 食品等流通合理化事業による食品等の流通の合理化が農林漁業の成長発展及び一般消費者の利益の増進に寄与する程度

冷蔵冷凍庫に給電する非常用発電機を設置することで、地震や風水害、事故等の災害により長時間の停電が発生した場合においても、一般消費者へ食品等を安定的に供給するといった市場機能の維持・継続が可能となる。また、場内事業者が取り組む食品等の輸出事業を安定的に継続することで、農林水産業及び食品産業の持続的な発展に寄与する。